

2012年9月1日から2020年3月31日に、
当院で中心性漿液性脈絡網膜症と診断された方へ

研究実施のお知らせ

研究の題名：脈絡膜厚による中心性漿液性脈絡網膜症の病態の違い

研究期間：医学部附属病院長の許可日～2023年3月31日

研究責任者：山梨大学医学部眼科学講座 臨床助教 四條 泰陽

山梨大学医学部では、上記課題名の研究を行います。「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成29年5月30日施行）に基づき、匿名化された情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

【研究の目的と意義について】

今回の研究では、中心性漿液性脈絡網膜症の患者さんのカルテを見直し、そのデータ（年齢・性別、画像所見や視力など）を評価し、同疾患のリスクとなるような因子や視機能の予後について調査します。

【研究の方法について】

2012年9月1日～2020年3月31日の期間に：中心性漿液性脈絡網膜症と診断された患者さんのうち、初診時の検査所見やその後の画像所見や視力等を調べます。

【利用する情報について】

〈対象となる患者さん〉

2012年9月1日から2020年3月31日の間に当科を受診され、中心性漿液性脈絡網膜症の診断を受けた患者さん

〈利用する情報・項目〉

情報：診療録情報（年齢、性別、視力、画像データ）

なお、この研究に必要な臨床情報は、すべて診療録より取り出しますので、改めて患者さんに行っていただくことはありません。

【情報を利用する者の範囲について】

この研究で得られた情報は、当院眼科学講座でのみ利用します。

【個人情報の取扱いについて】

収集したデータは、誰のデータか分からなくした（匿名化といいます）上で、統計的処理を行います。国が定めた倫理指針（「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」）に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。

【お問い合わせ等について】

この研究へのご協力は、患者さんご自身の自由意思に基づくものです。この研究への情報提供を希望さ

れないことをお申し出いただいた場合、その患者さんの情報は利用しないようにいたします。ただし、お申し出いただいた時に、すでに研究結果が論文などで公表されていた場合には、完全に廃棄できないことがあります。情報の利用を希望されない場合、あるいは不明な点やご心配なことがございましたら、ご遠慮なく下記連絡先まで、メール又は FAX にてご連絡ください。この研究への情報提供を希望されない場合でも、診療上何ら支障はなく、不利益を被ることはありません。

また、患者さんや代理人の方のご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報および知的財産の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことや文書でお渡しすることができます。希望される方は、以下までメール又は FAX にてご連絡ください。

〈お問い合わせ等の連絡先〉

山梨大学医学部眼科学講座

臨床助教 四條 泰陽

メールアドレス : tshijoh@yamanashi.ac.jp

FAX : 055-273-9657